



GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局
宮崎市橋通東3-1-22
宮崎合同庁舎
TEL 0985(38) 8821
FAX 0985(38) 5028

安全確認と安全作業の徹底を

組織的安全管理で
安全文化を未来へ



労働局長公開安全パトロール

安全担当者(左から取組状況について説明を受ける元木局長(右)と岡本部長(中))

宮崎労働局管内では今年に入り死亡災害が多発し、6月28日現在で10名の死亡災害が発生。このため7月からの平成29年度全国安全週間及び死亡労働災害多発警報期間中における取組の一環として、宮崎労基署と合同で公開安全パトロールを宮崎市の産廃工場で実施。

パトロール冒頭、元木局長から現場作業員等に対し「企業トップが、自ら安全への所信表明及び安全意識の高揚を掲げ、労使が一体となって安全衛生活動に取り組むことが重要です」など労働災害防止への効果的な取組と基本的な安

全管理の徹底を要請しました。

局長はじめ7人の労働局・監督署の職員が、①フォークリフトの特定自主検査と運転資格②発泡スチロール圧縮機やタイヤ切断機の使用状況③熱中症予防対策等について点検・確認を行いました。その後、事務所へ戻り総評を行い、パトロールを終了しました。



機械を点検する元木局長(右)



働き方改革と経済効果は密接にリンクすると講演する元木局長

安全で働きやすい職場環境づくりを

延岡安全衛生推進大会

6月14日に宮崎労働基準協会延岡支部が安全衛生推進大会を開催し、251名が参加。大会では延岡労基署の田子山安全衛生課長が昨年発生した橋梁からの墜落死亡事故の事例を示しながら、安全対策の必要性を訴えました。また元木労働局長が「働き方改革のすすめ」と題し特別講演を行いました。元木局長は宮崎県の労働人口の減少、労働時間、有効求人倍率(人材不足)の現状について説明し「安全な職場環境とともに魅力ある職場づくりが必要です」と述べました。

さあ、帰ろう。キラめく夕方が待っている。

経済団体
などへ

ゆう活を要請



宮崎県経営者協会工藤専務へ(左)要請する桑原雇用環境均等室長(右)外山県雇用労働政策課長(中)

家同友会、宮崎県工業会及び日本労働組合総連合会宮崎県連合会(連合宮崎)の7団体。

要請先からは「若者の県内就職・定着や人手不足の問題の対

応策として働き方改革は重要である」など取組に前向きな意見がある一方、「働き方改革を進めるには労働生産性の向上が必要である」等の指摘もあり、「働き方改革」実現に向けて貴重な意見交換の場となりました。

6月5、6日、宮崎労働局と宮崎県は共同で「働き方改革」と「ゆう活」について団体要請を行いました。要請先は、宮崎県経営者協会、宮崎県商工会議所連合会、宮崎県中小企業団体中央会、宮崎県商工会連合会、宮崎県中小企業

厚生労働大臣感謝状

表彰おめでとうございます

6月20日宮崎労働局は、宮崎紛争調整委員会委員(10年間で直近2年間は会長)を務められ、この3月に退任された郷俊介氏に感謝状を授与しました。郷氏は弁護士としての知識と経験を活かして、労使紛争の解決に多大な貢献をいただきました。



郷俊介氏(左)の長年の功勞を表彰する元木局長(右)と生対

来春卒業予定の大学生等

就職面接会開く

県内企業も優秀な人材確保に向けてアピール



みやざぎ犬の「むう」ちゃんも受付した

九州・沖縄の主要企業で昨年より1割以上増が見込まれる「売り手市場」にあり、宮崎労働局、宮崎県、宮崎市では、県内就職促進の一環として、6月16日（金）に「大学等就職面接会」をシーガイアにて開催しました。

当日は、企業133社、大学生等232名の参加を得、限られた時間でしたが、企業は応募者確保、学生は興味ある企業等の情報収集の場として活用。この面接会も今回で16回目となり、最近5年間は平均で42名余りが就職していることから、今回も一人でも多くの就職実現を願っております。



大学生等の就職内定者に占める県内内定者割合は、29年3月卒者で48.2%と依然として若手人材の県外流出が続いています。来春卒業予定大学生の採用に関しては、

労働法等

県庁担当者研修で講義

社会福祉施設の労働環境向上のため



講義する佐々木専門監督官

宮崎労働局は、6月12日、県内の社会福祉施設の監査担当の県庁職員研修会で労働関係法について講義しました。社会福祉施設の監査の際に必要な労働契約、労働時間、賃金等の労働基準法令に関し、年休の与え方など具体的な事例の検討を交えて説明。参加者から時間外労働協定について1年以上の有効期間は可能かとの質

疑があり「可能であるが定期的に見直しが必要なので1年間が望ましい」と回答しました。

働き方改革～宮交タクシー～三桜電気工業

企業トップへ働きかけ

6月6日、後藤総務部長と桑原雇用環境・均等室長が(株)宮交タクシーを、同13日、岡本労働基準部長と山下職業安定部長が三桜電気工業(株)をそれぞれ訪問し各社の働き方改革についてお話を伺いました。

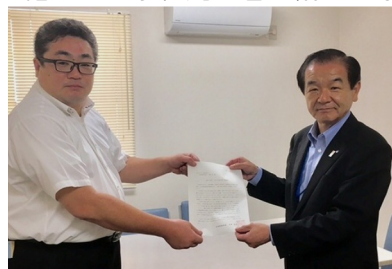
宮交タクシー岩満社長からは①運転手の家庭事情や体調に応じ希望を聞きながら勤務時間を決定②女性運転手が16人、65歳以上の継続雇用者が100名以上と多く平成27年に高年齢者雇用優良企業等宮崎県知事表彰を受賞③治療しながら勤務する者に対しては産業

医の運転適否診断を行い、万が一運転できない場合は管理部門へ異動させるなど健康管理を行っているとのことでした。

三桜電気工業盛田常務からは①休日が目でわかる独自のカレンダーを作成し各人が年休取得時季を指定したり、発注者と協力しな

がら年休取得を促進してる②独身寮の洗濯は会社で行って負担を減らしたり、冬には暖かい食事が取れるよう保温用弁当箱を支給③育児休業取得者もいるが女性の課長・係長も登用している、とのこと。

それぞれ各社に対し更なる取組への推進をお願いいたしました。



宮交タクシー岩満社長(右)へ更なる取組みを要請する後藤総務部長(左)



三桜電気工業盛田常務(右)へ要請する岡本基準部長(中)と山下安定部長(左)